

## ■ 手順 5 ■ 印刷・製本について

### あとは原稿入稿のみ

ここまで、掲載項目、構成、レイアウトを考え、表現方法についても検討しました。

ここまでの段階で、ほぼマニュアルとしての輪郭は見えているはずですが。あとは内容を精査し印刷業者に原稿を入稿しましょう。

### 製本費用について

マニュアルを印刷するには当然費用が掛かります。全額自治会費で支出する自治会もあるとは思いますが、それ以外でも次のようなケースで作成することができます。

#### 1 防災資器材整備費補助金を活用し半額補助

防災対策課から毎年お知らせしている補助金を活用し、半額補助で印刷することができます。

金額の上限は、他の資器材購入費なども含め、30万円まで半額補助できます。

(購入合計金額60万円までなら半分の30万円が補助金として出ます)

#### 2 裏表紙に地元企業の広告を掲載し、広告費用で賄う。

マニュアルは、地域の全住戸に配布するため、裏用紙などに企業広告などを掲載することで、広告としての効果があります。地域で配るのであれば、当然、地域のお店の広告を掲載することが効果的となります。地元のお店に広告スポンサーとして協力してもらえれば両者にとってメリットのあるお話になります。

しかし、今後、マニュアルの見直した後の新たなマニュアルの印刷を考えているのであれば、「永久保存版」でない旨をお伝えしておいたほうがトラブルにならないかもしれません。